

一之瀬脳神経外科病院 リハビリテーション技術部

— 理念 —

患者さん、ご家族の想いに寄り添い、
その人らしい生活の実現に向けたリハビリテーションの提供に努めます

— 方針 —

01

入院直後からの早期リハビリテーションを実施します

02

住み慣れた自宅や地域での生活が安心・安全の下で再開できるように、“おうちへ
帰ろう”を合言葉に退院後の生活を見据えたリハビリテーションを実施します

03

院内・地域における多職種との連携を重視し、リハビリテーション専門職としての
発信に努めます

04

安全性を担保し、患者さんが安心してリハビリテーションに取り組めるように
配慮します

05

熱意をもってリハビリテーションに取り組み、可能性の追求と研鑽に努めます

教育体制

リハビリテーション技術部全体で新人療法士を支援します



- ・新入職員1名につき、教育担当者が1名となります。
- ・教育担当者との間で、課題や目標を定期的に確認しながら業務にあたります。
- ・集合研修、OJT (On-the-Job Training) により新人教育を継続します。
- ・各課 (PT・OT・ST) での定期的な勉強会を通じて、継続した学習機会を設けます。

— 年間スケジュール（1年目） —

- ・OJTで、教育担当者と一緒に業務を行います。社会人・医療人としての振る舞いや様々な仕事を経験し、覚えていきます。
- ・OFF-JT (Off-the-Job Training) での、集合研修も行います。

4月
5月



- ・教育担当者の下、リスクの低い患者さんの担当を開始します。
- ・リスクの高い患者さんも、指導者と一緒にできることから治療に参加します。

6月
7月



- ・低～中等度のリスクがある患者さんの受け持ちを開始します。
- ・患者家族への指導や対応なども指導者と一緒に経験します。

8月
～
10月



- ・比較的リスクの高い患者さんの受け持ちを指導の下で開始します。

11月
～
3月



先輩職員からの助言の下で、担当患者さんに対して安全にリハビリが提供できることを目指します。チームの一員としての多職種連携への参加、カルテ入力や報告書作成など基本的業務を少しずつ経験し、分からることはすぐに確認しながら、確実に行えるようになることをを目指します。



— 教育体制（2年目以降） —

入職後3年間を目途に引き続き教育担当者がつき、必要に応じて相談・確認を行いながら業務や診療にあたります。2年目、3年目以降は、より実践的な技術や専門性に特化した経験が身につくように、リハビリテーション技術部全体で研鑽に励みます。

スタッフの出身校紹介

信州大学 長野医療衛生専門学校 長野保健医療大学 信州リハビリテーション専門学校

健康科学大学 帝京科学大学 帝京医療福祉専門学校 新潟医療福祉大学 藤田保健衛生大学

中部リハビリテーション専門学校 トライデントスポーツ医療看護専門学校 杏林大学

神戸大学 愛媛十全医療学院 静岡医療科学専門学校

